

中西あつのぶ議員を再び市議会へ

★どんな小さな声でも誠実に取り上げ、

市政動かす行動力

中西議員は「住民の声を届けることが議員の役割」とどんな声にでも誠実に対応してきました。

国保税が高くて払えず、2ヶ月の短期保険証の期限が切れてしまい、子どもさんの部活の合宿に保険証を持たせられないことを聞きつけ議会で2度取り上げました。そして現在、2ヶ月の期限だった短期保険証が6ヶ月に改善されました。



障害のある方が、濡れた水着が絞れないとの声を聞き、プーに脱水機を設置させる。



また、公園の遊具が錆びて危険になっているという声を聞き、調べてみると管理者の市はいつ遊具が設置されたかも把握していない実態がわかりました。

さっそく市議会に取り上げ、市内すべての公園で調査と点検がおこなわれました。

★国民金融公庫での経験生かし、経済と中小企業を元気にする提案しめし次々実現

中西議員は国民金融公庫での経験を生かして、長崎の経済活性化のためには中小企業が元気になることと、そのために一貫して調査し、積極的に議会で提案してきました。



市が発注する小規模の修繕はどの業者でもできるようにすべきと提案し、「小規模修繕登録制度」が実現し、新たな仕事の確保へとつながっています。また、深刻な不況のなかで、市独自の融資制度が年々縮小されている実態を指摘。その後、新たな融資制度がつくられ、多くの中小業者のみなさんが利用しています。

中西あつのぶのお約束

- 国保税、介護保険料・利用料の減免を
- 中学卒業まで、子ども医療費を無料に
- 核兵器の廃絶、憲法改悪反対に取り組みます
- 屋内ローラースケート・スケボー場整備を

一人でも、道理ある提案で県政動かす

堀江ひとみ県議を再び県議会へ

★県下で乳幼児医療費の現物給付が実現へ

お母さんたちの運動と
議員生活 20年の努力が実を結ぶ

「お金の切れ目が命の切れ目」にさせない…堀江県議の活動の原点です。



現物給付を求め、親子パレード（左が堀江議員）

窓口払いのいらない乳幼児医療費の現物給付は、市議のときから求め、県議会でも一貫して求めてきました。そしていよいよ、2011年4月から全県で現物給付が実施される予定となりました。

一緒に運動に取り組んできた木永朱実さんは、「私が福岡から長崎へ転入してきたのは今から16年前です。長女は喘息気味で4歳頃までよく病院にかかっていました。その当時福岡ではすでに現物給付だったので、長崎にきて窓口で支払いがあると聞き、ビックリしたことを覚えています。やっと長崎県でも現物給付になると聞き、安心しました。お財布の心配をせずに受診できるのは、とても安心できると思います」と、喜びの声をよせています。

★ソニーの派遣切りを追及し、知事を動かす

県がこれまで18億円の補助金を出したソニー長崎で派遣社員が解雇された問題で、堀江県議は「知事はソニー長崎に直接雇用を求めよ」と迫り、「努力する」と金子知事（当時）は答弁。その後、知事は派遣元と面会し直接雇用を要請しました。



派遣切りされた青年たちが見守るなか知事に迫る堀江県議

諫早のソニーで派遣社員として働いていた僕は一昨年、突然「派遣切り」に。県議会でソニーに直接雇用を知事に要請した堀江県議の主張と活動は、解雇は不当とソニーや派遣元と争ってきた僕らの活動と常に共にありました。堀江さんの言葉で得た熱い思いと勇気は忘れません。 横山 晃さん

堀江ひとみのお約束

- 国保税引き下げのために市町の国保に援助を
- 全学年で30人学級を実現し、耐震化を急ぎます
- 財源は長崎新幹線、石木ダム、県庁舎新築移転などのムダづかいをやめて確保します

◎日本共産党への支持を広げるため、あなたのお知り合いをご紹介下さい。

ご紹介者（ ）

氏名	住所	電話番号	あなたとのご関係